

J R補助金利活用促進事業補助金交付制度について

提 案	<p>7月13日の新聞でJR芸備線の沿線住民による市民団体・芸備線魅力創造プロジェクトが広島県庄原市で「木次線、芸備線を生かす方法」をテーマにシンポジウムが9月23日に開催されるとの情報を知りました。</p> <p>日頃から「地域発展の原動力になる木次線構築について」話し合いをしている仲間何かヒントが貰えるのではないかと参加を決めましたが一般の入場者は9月1日からの受付であり幸い4名の入場券を手に入れることが出来ました。</p> <p>木次駅から備後庄原駅まで汽車賃が往復で3,380円、入場料1,000円、弁当代1,200円掛かり汽車賃を補助金使用したいと考え、9月4日に市うんなん暮らし推進課へ申し込みましたが予算が無いとのことでした。令和5年度予算が始まってから5ヶ月経ていないのに予算が無いのに驚きました。この補助金制度が木次線の運賃収入を上げることに役に立っているのでしょうか。以前にも乗車区間について提言させて頂きました。つきましてはこの制度が始まってから補助金支出に対し汽車賃に幾ら使用されたか情報を開示して頂き有効な補助金使用で成果が上がっていることを証明して頂くことをお願いします。</p>
回 答	<p>ご質問のありました、JR木次線利用促進事業補助金の制度は県の支援を得て、令和3年度から実施をしている事業です。</p> <p>本事業の目的としては、人口減少や新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響により利用が減少したJR木次線の利用を促進し、木次線を利用した旅行や行事参加などの移動需要を喚起するとともに、木次線を一度も利用したことのない方が木次線を利用した旅行をすることにより、木次線の魅力を感じていただき、木次線乗車のリピーターになっていただくことを期待して事業を展開しております。</p> <p>昨年度は、普通列車またはトロッコ列車「奥出雲おろち号」に、1区間以上乗車すれば、本補助事業の対象としていたところですが、今年度は、普通列車のみを対象とし、2区間以上乗車した場合に変更したところです。</p> <p>トロッコ列車「奥出雲おろち号」には、ラストイヤーということもあって、連日多くのお客様にご乗車いただいておりますし、普通列車についても、補助事業の申請件数及び申請額ともに右肩あがり増加しており、木次鉄道部からも、今年度に入り、木次線の利用者は増加傾向であるとお聞きしております。</p> <p>以上のことから、本事業の本来の目的である木次線を利用した旅行や行事参加などの移動需要の喚起という点について、一定な効果が上がっているものと認識しております。</p> <p>なお、以前ご提言をいただきました、補助制度に係る乗車区間の延長についても引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>

【参考】 J R 木次線利用促進事業補助金（R 3～R 5）

区分	金額	割合	備考
事業費	15,394 千円		R 3～R 5
J R 運賃等	2,798 千円	18.2%	
2次交通費	9,950 千円	64.6%	
事務費	2,646 千円	17.2%	

（回答部署：政策企画部うんなん暮らし推進課）